

## 山口二矢烈士六十年祭の御案内

謹啓 清秋の候、諸先生諸先輩におかれましては時下益々御清祥の段大慶至極に存じます。

さて來たる、令和二年十一月二日は山口二矢烈士が自裁されて六十年目を迎へます。御承知の通り、昭和三十五年十月十二日、山口二矢烈士は 皇國を赤化で穢さうとする社會黨黨首淺沼稻次郎を斬奸の刃で斃し、十一月二日、東京少年鑑別所の壁に「天皇陛下万歳」「七生報國」と書き残し、弱冠十七歳といふ若さで自裁されました。皇國の赤化を防ぐといふ神業を成し遂げられた烈士の偉業を顯彰するとともに、哀悼の誠を捧げたく存じます。

就きましては、左記の通り山口二矢烈士六十年祭を相営みたく存じますので、御多忙中誠に恐縮ではございますが、御參列賜りますやうお願い申し上げます。

謹言

### 記

日時 令和二年十一月二日（月） 午後七時より

場所 ニュー新橋ビル地下大ホール

住所 東京都港区新橋二丁目十六の一ニュー新橋ビル地下大ホール

令和二年十月

祭主 山口二矢顯彰會代表

大日本愛國團體聯合 時局対策協議會 議長 福田 邦宏

齋主 大日本愛國團體聯合 日守木會 議長 島田 栄造

